



美術部の巨乳後輩が
ヌードモデルになった結果

あまりにエロすぎて
俺の芸術が爆発した話

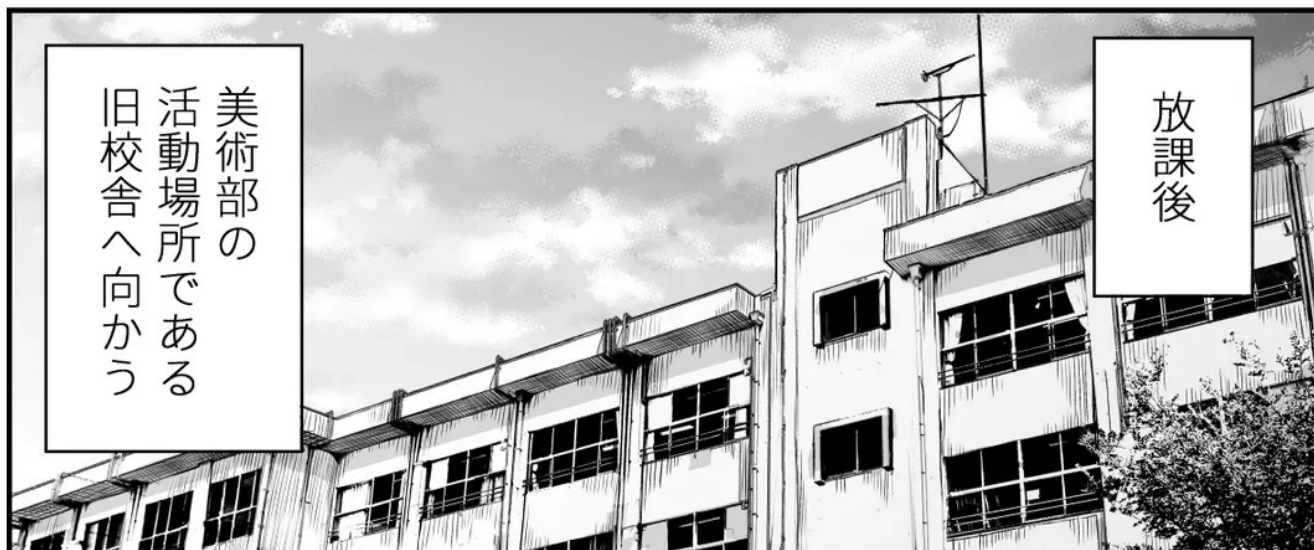
DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

ことらっく

放課後

美術部の
活動場所である
旧校舎へ向かう



取り壊しが
決まっている
この校舎には

俺たち以外に
人の気配はない

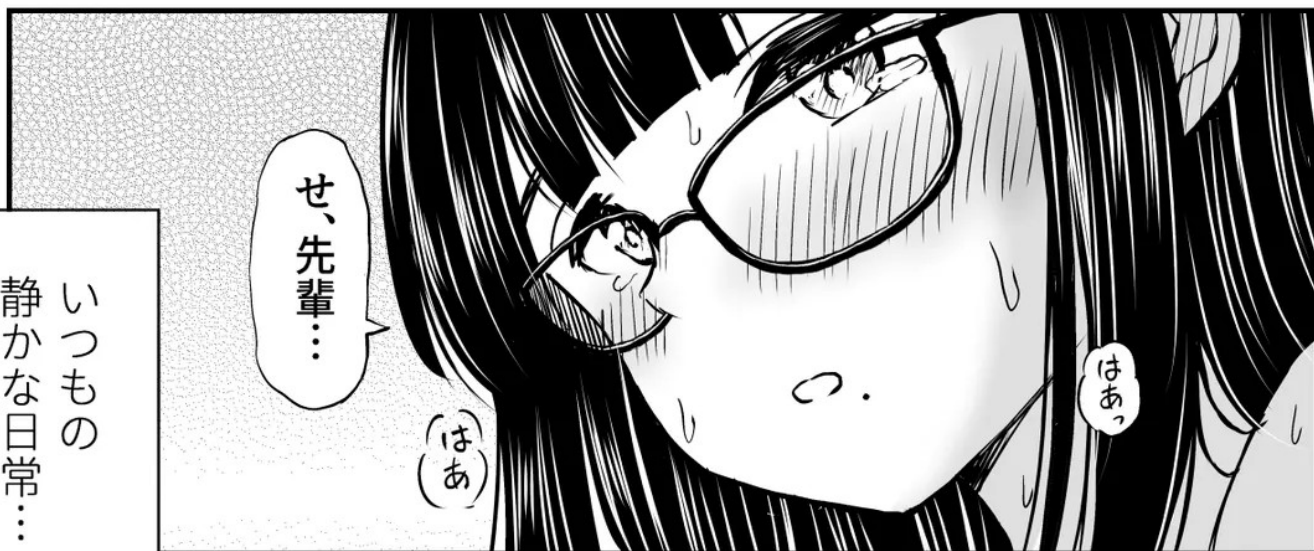


はあっ

(はあ)

せ、先輩…

いつもの
静かな日常…



だったはずなのに

もにゅもにゅ♡

まさかこんな事になるなんて…

くちゅ…♡





この美術部は部員が
2人しかない



そして
1年の鷺宮雪那



俺、3年
あいざわとうま
藍沢透真

鷺宮雪那…1年です

よろしく…

彼女は入部当初は
ほとんど話さない
おとなしい子だった

表情も硬く
1人で静かに
描いている姿は
壁を感じさせた

どうして先輩は
絵を描いてるんですか？

けどある日…



俺が美大を目指している事や
将来の夢を話すと
彼女は真剣に聞いてくれた



将来について
そんなに明確に
考えているんですね…

私も…将来
絵の仕事をしたって
思っているのですが
誰にも言えなくて



はい…!!



堂々と
自分のやりたい事
やればいいさ

相談なら
いつでも乗るし



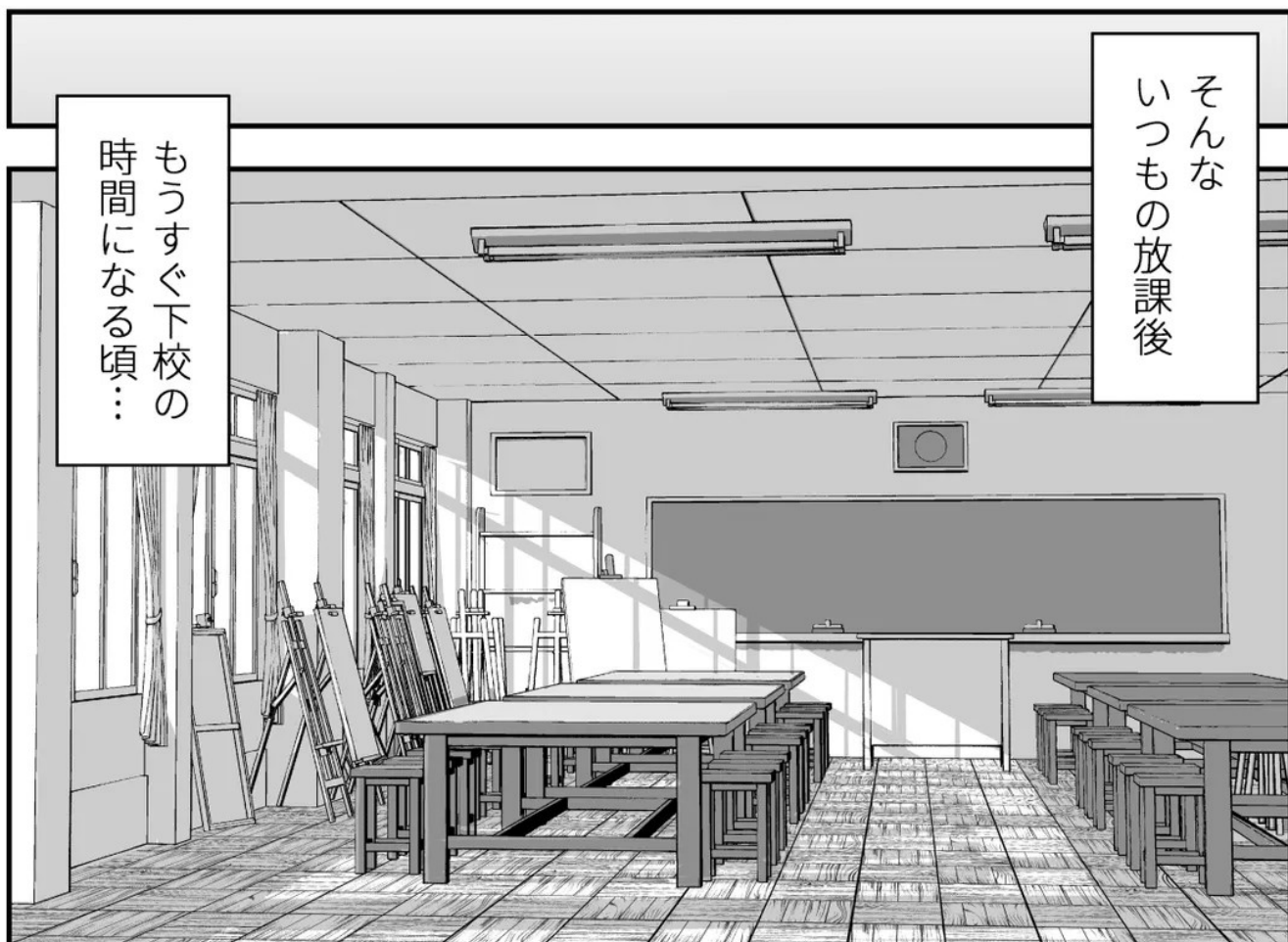
今では放課後
隣に座る彼女が
当たり前になり

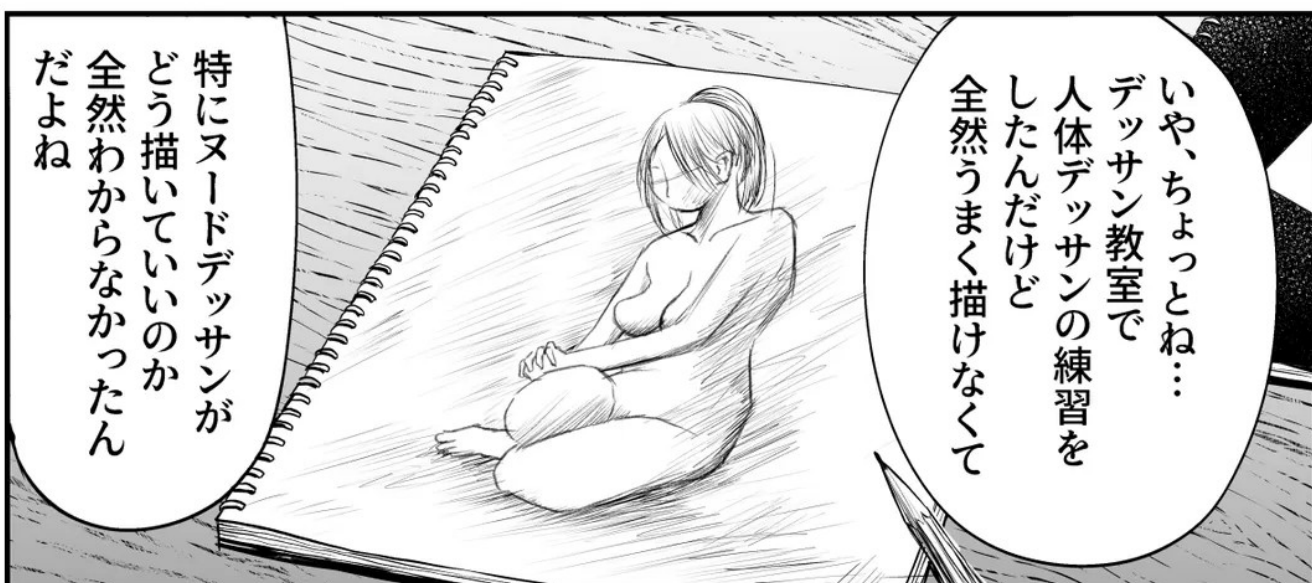
お互いの絵を見せ合ったり
他愛のない会話をするのが
貴重な時間になっていた



そんな
いつもの放課後

もうすぐ下校の
時間になる頃…







そう…
だったんですか



あ、ああ…
初めて描いたんだけど
手が止まってばかり
だったんだよね

…



何気ない会話の
つもりだった



…

それなのに…



先輩…

あの…

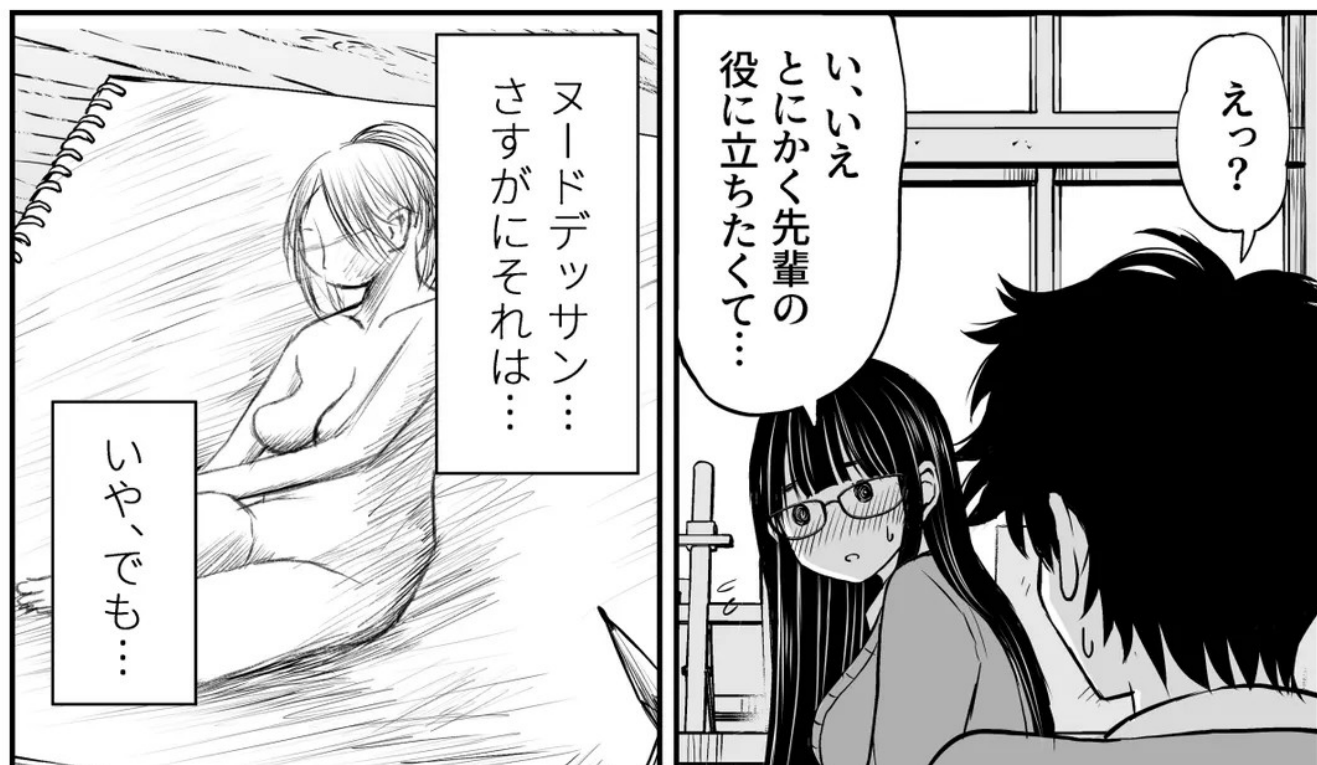
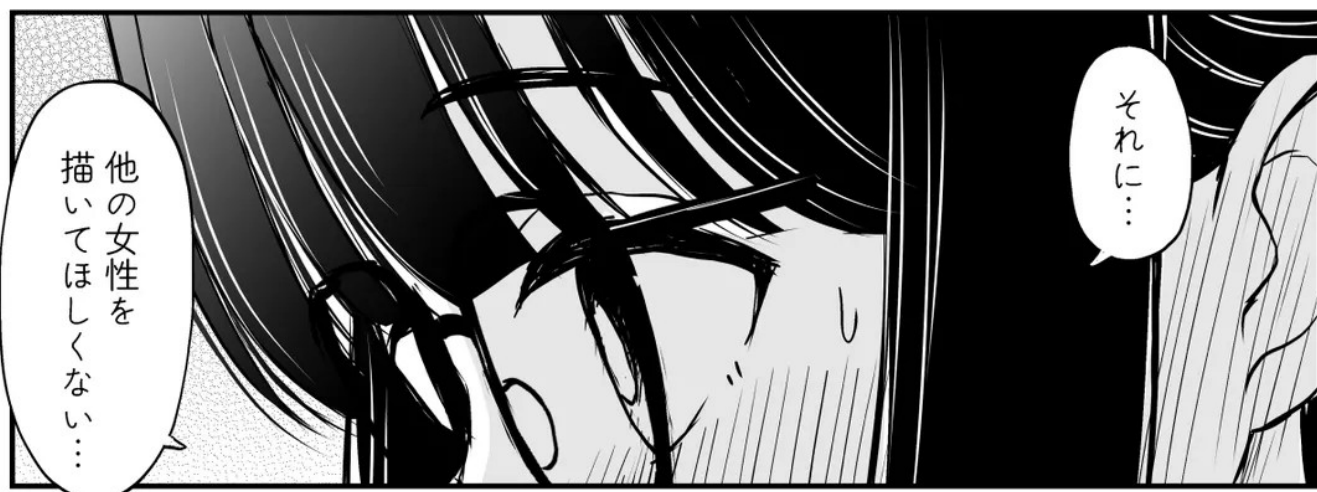
私の身体で…

練習して
みませんか？

まさか
あの雪那が

は？

こんな提案を
してくるなんて…



震える瞳

紅潮した頬

ぎゅっと
握りしめた手

どれだけ勇気を出して
言ってくれたのか

この場面で断れる奴が
いるだろうか…？

ほ、本当に
いいの…？



ほ、本当に
脱いでくれてる……！

プチッ

いいのか……？
今ならまだ……

はら……

トルッ

いや、雪那の勇気を
踏みにじることは
出来ない

ア

何より

雪那の身体から
目が離せない…！

や…やっぱり

恥ずかしい
ですね…

でかいとは思ってたけど
ここまでとは…!!





私の身体...

変じゃないで
しょうか...?

あ、ああ...

すごく
綺麗だと思うよ...

あ、ありがとう
ございます...

近くで見ても
いいかな...?

は、はい...

カアア

手を頭の後ろに
置いてくれる？

こう…
ですか？

…って
違うだろ俺！

うお…改めて見ると
マジでエロすぎ…

デッサンの勉強ために
やってくれているん
だから…

ちゃんと
観察しないと…

身体のライン…
手足の筋肉の
付き方…



おっぱい...じゃなくて
乳房の形、本当にきれいだな...

この腰の
ラインも...

ナニ...

ひゃっ!!



もし必要な
事なら...

どうぞ...

いいの!?



しまった思わず
触ってしまった

ごめん
あまりに綺麗で...

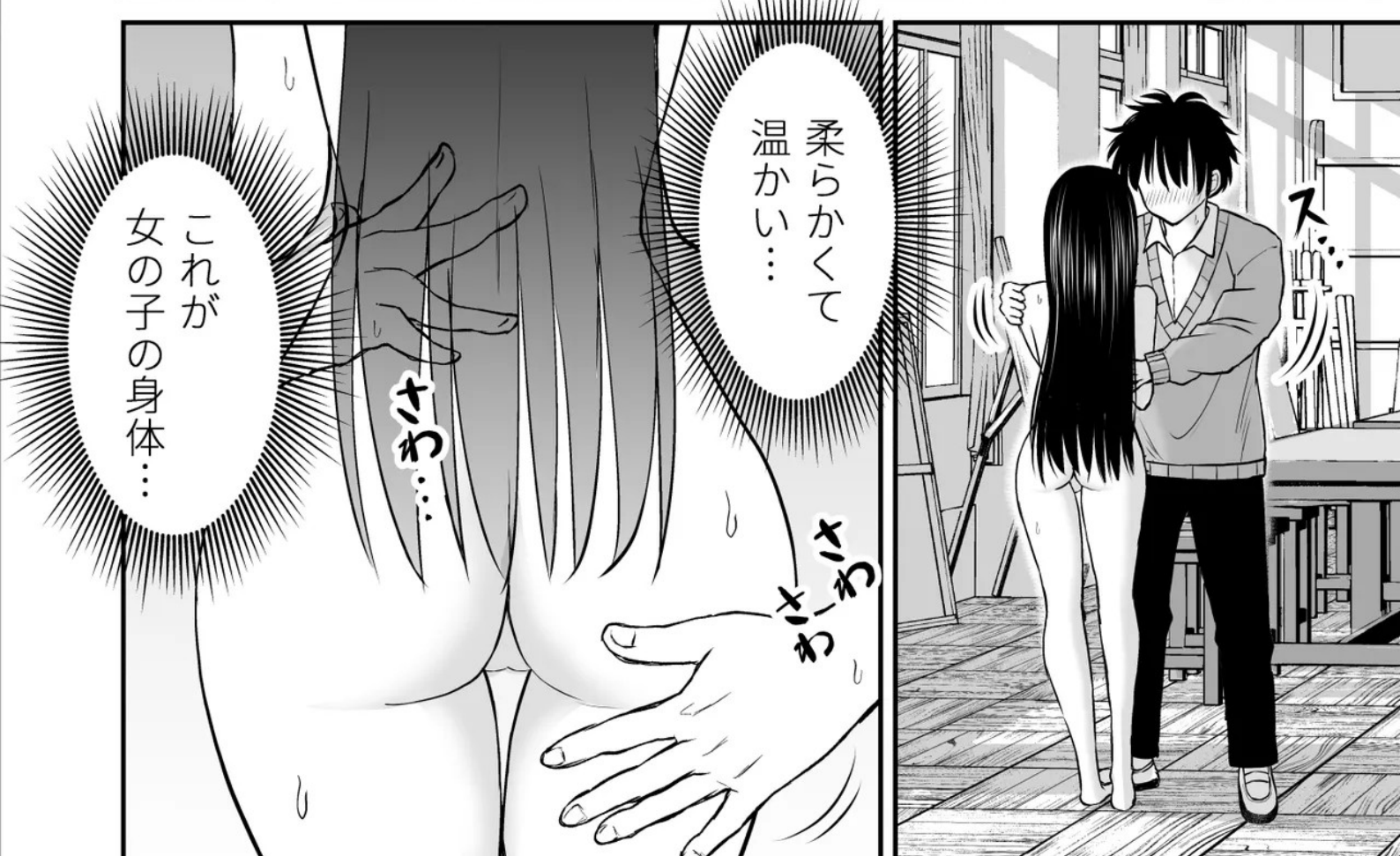
いいえ...

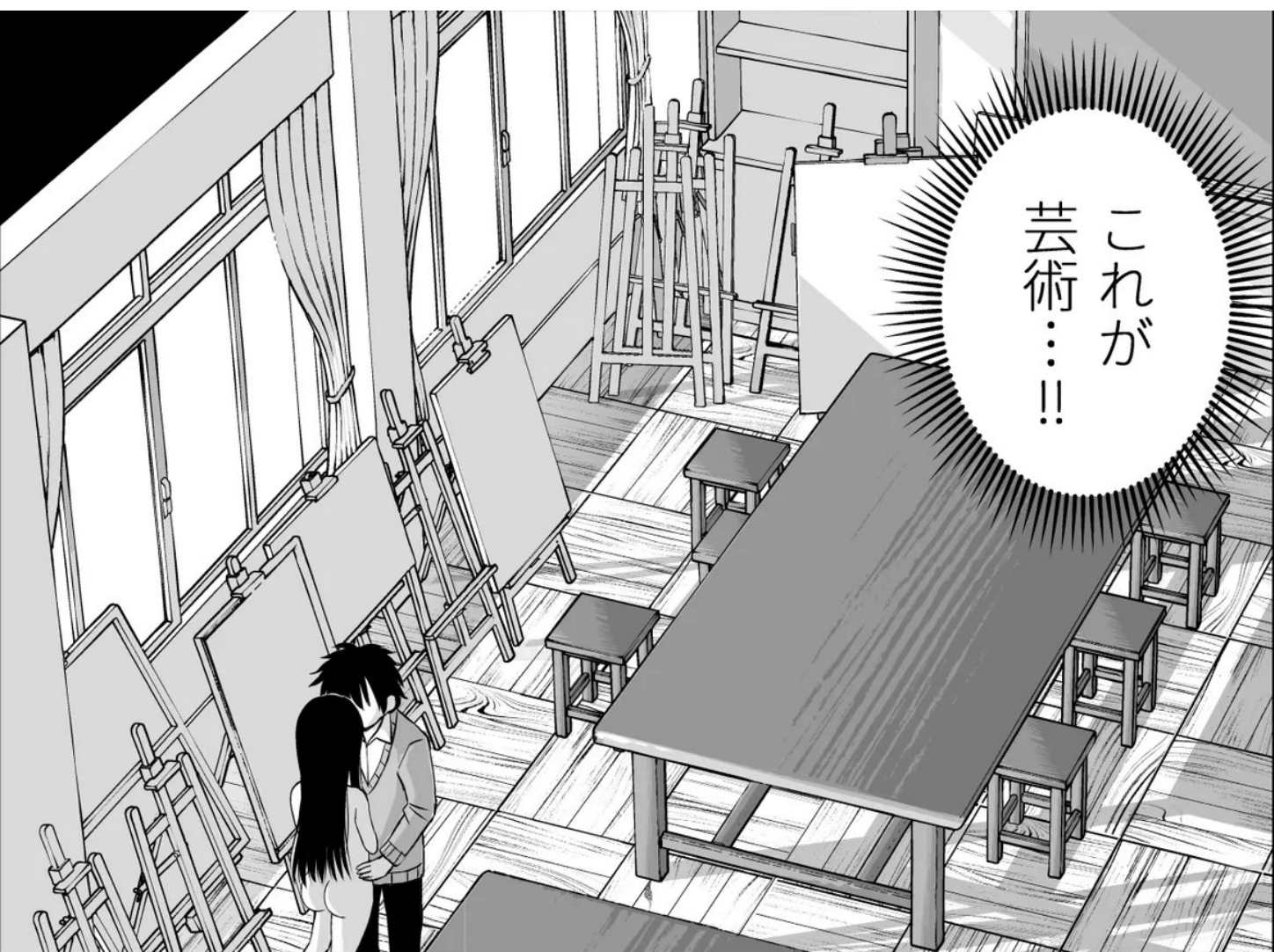


えっと、触って
ほしくないところ
とかある?

ど、どこでも
大丈夫です...

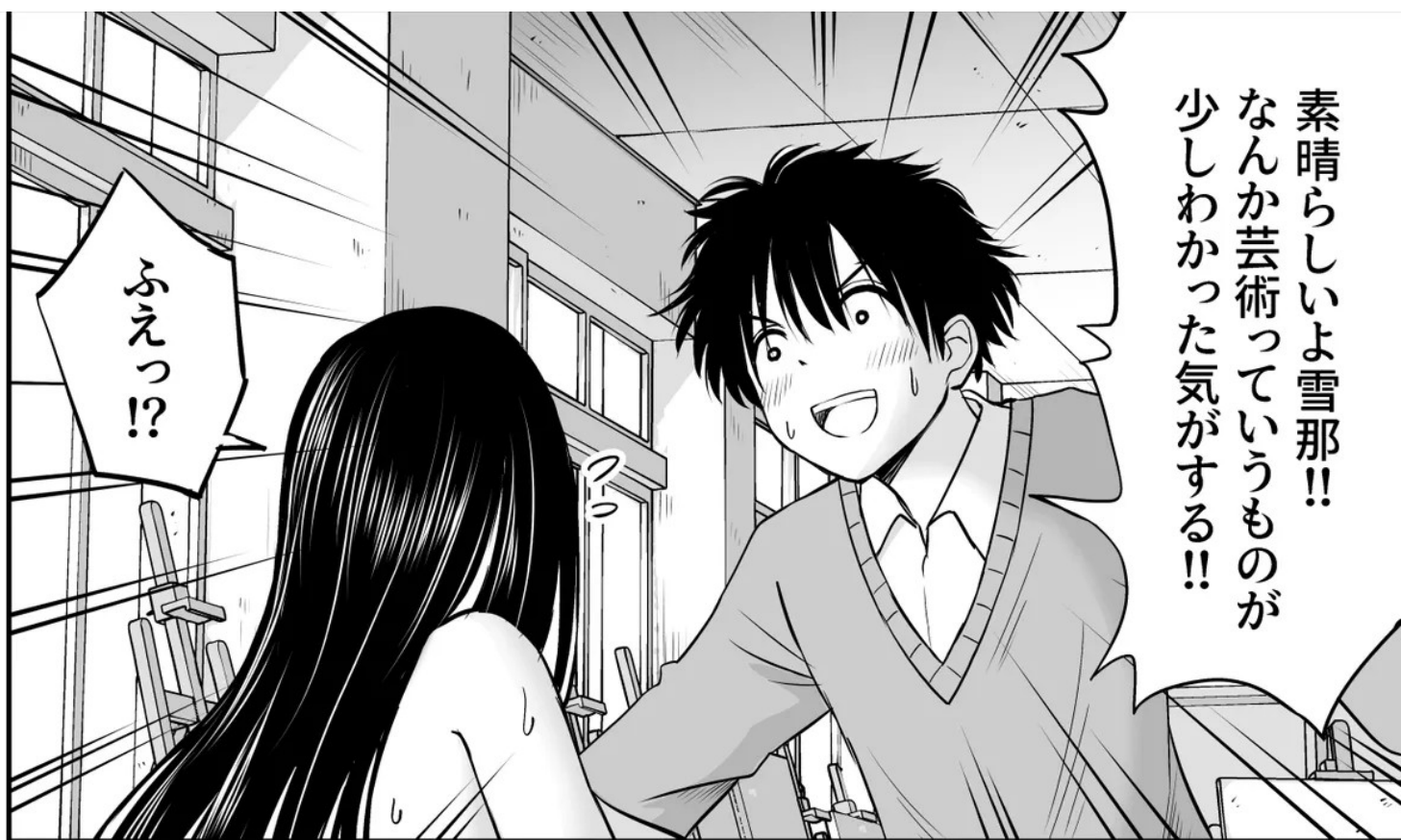
いいの!?



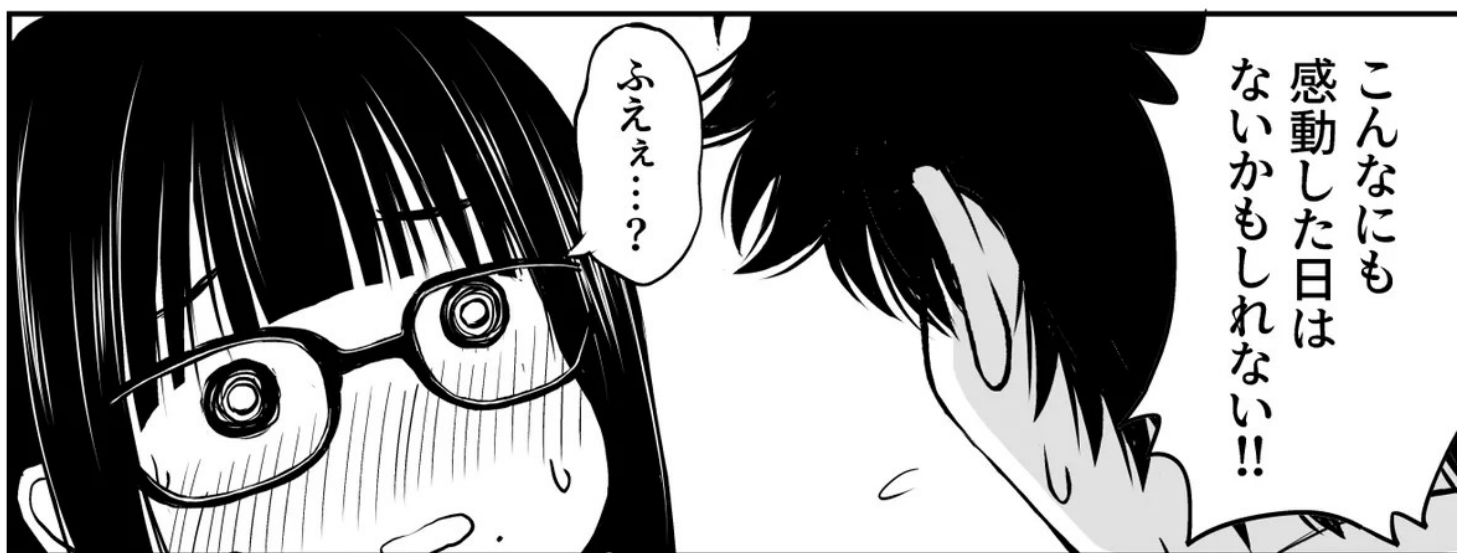




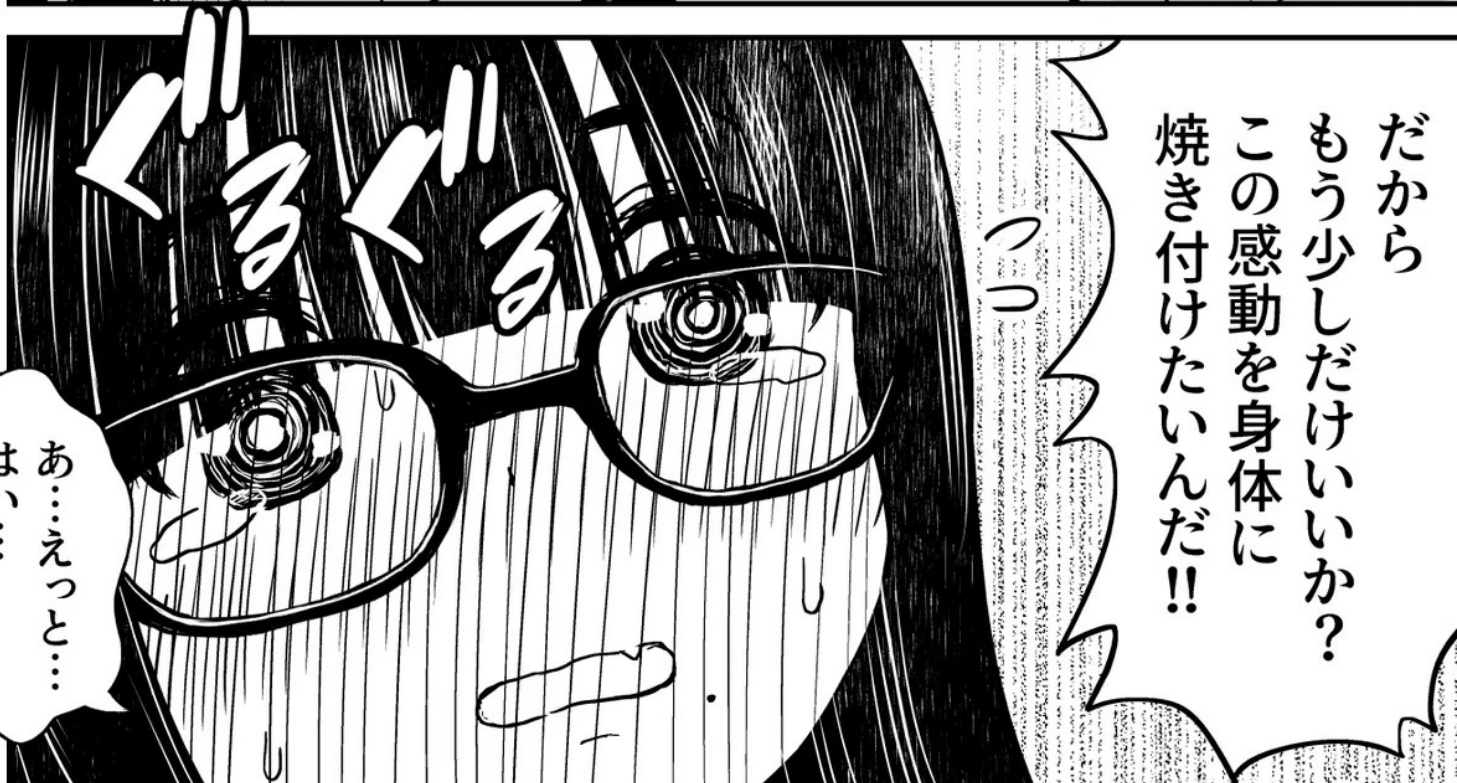
素晴らしいよ雪那!!
なんか芸術っていうものが
少しわかった気がする!!



こんなにも
感動した日は
ないかもしれない!!

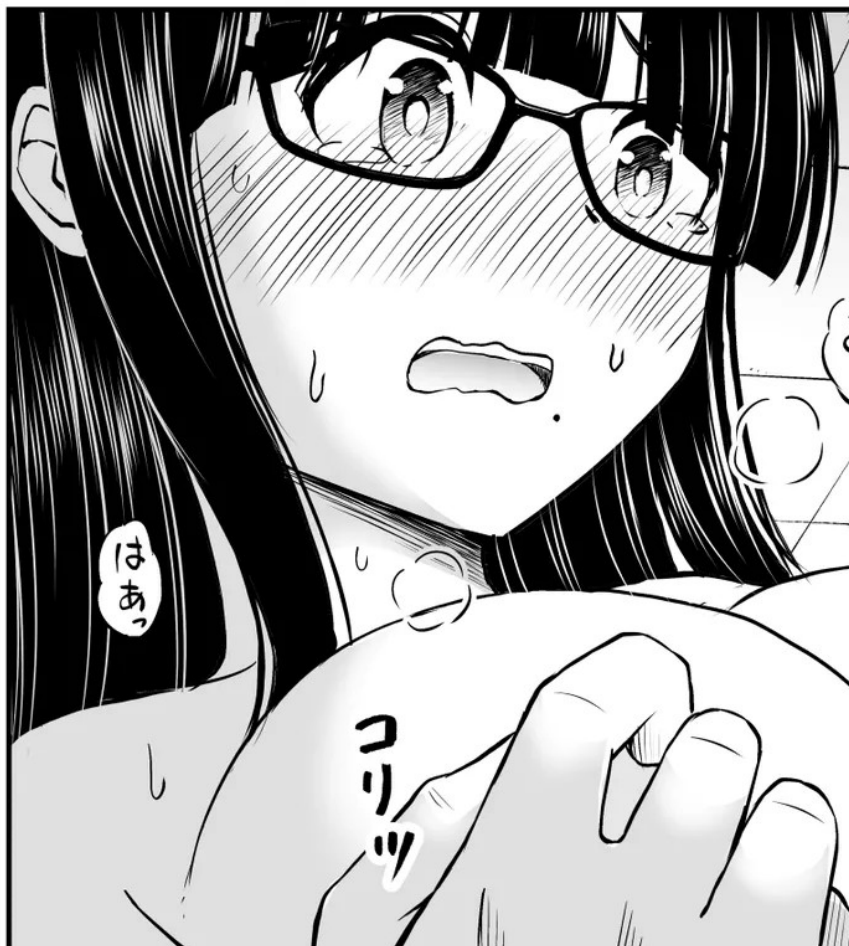


だから
もう少しだけいいか?
この感動を身体に
焼き付けたいんだ!!





ここの感触も…



おお…
乳房とは対照的で
ピンと引き締まって
弾力がある…!!

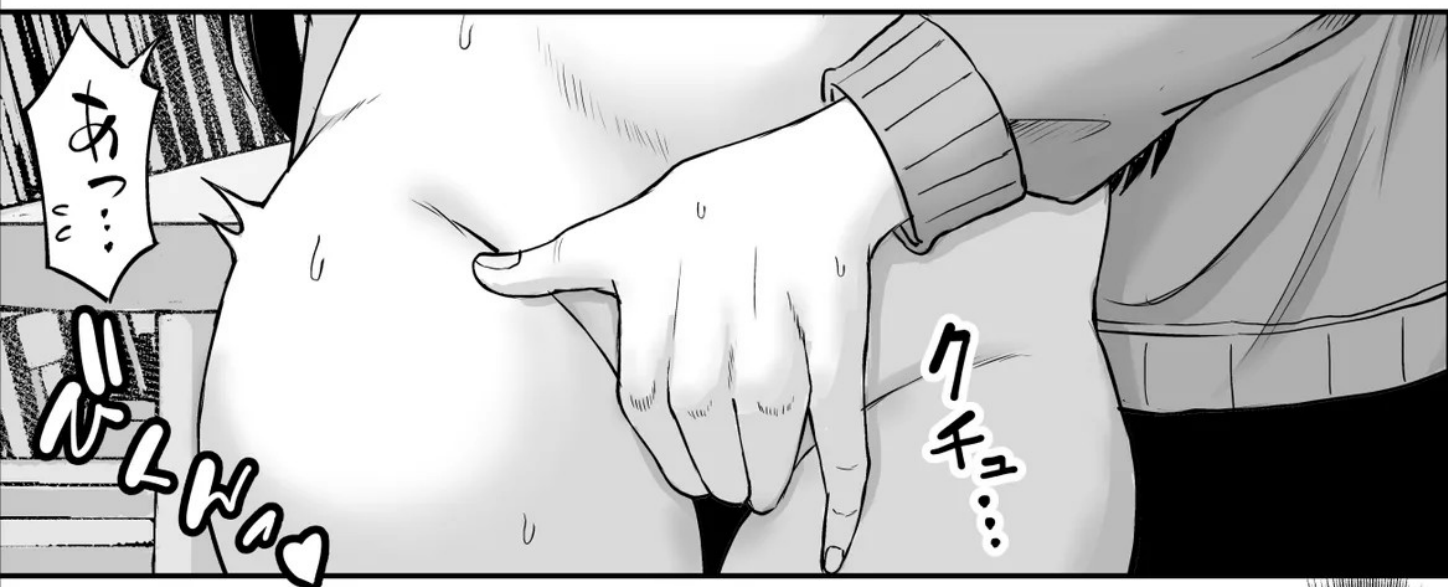
ん♡

あっ

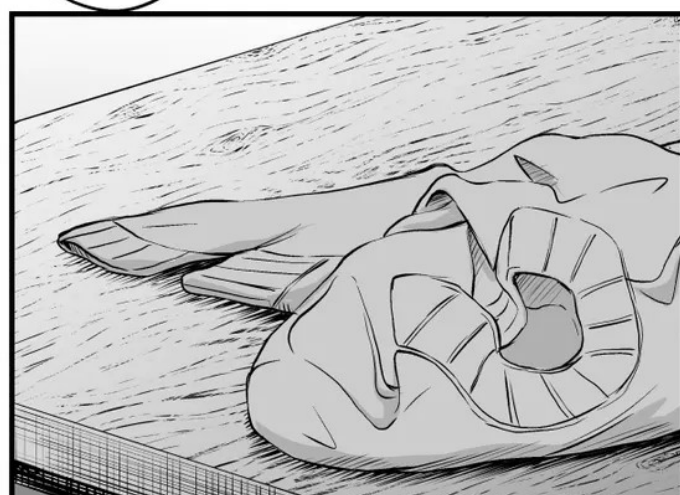
はぁ

コリッ

くり
くり





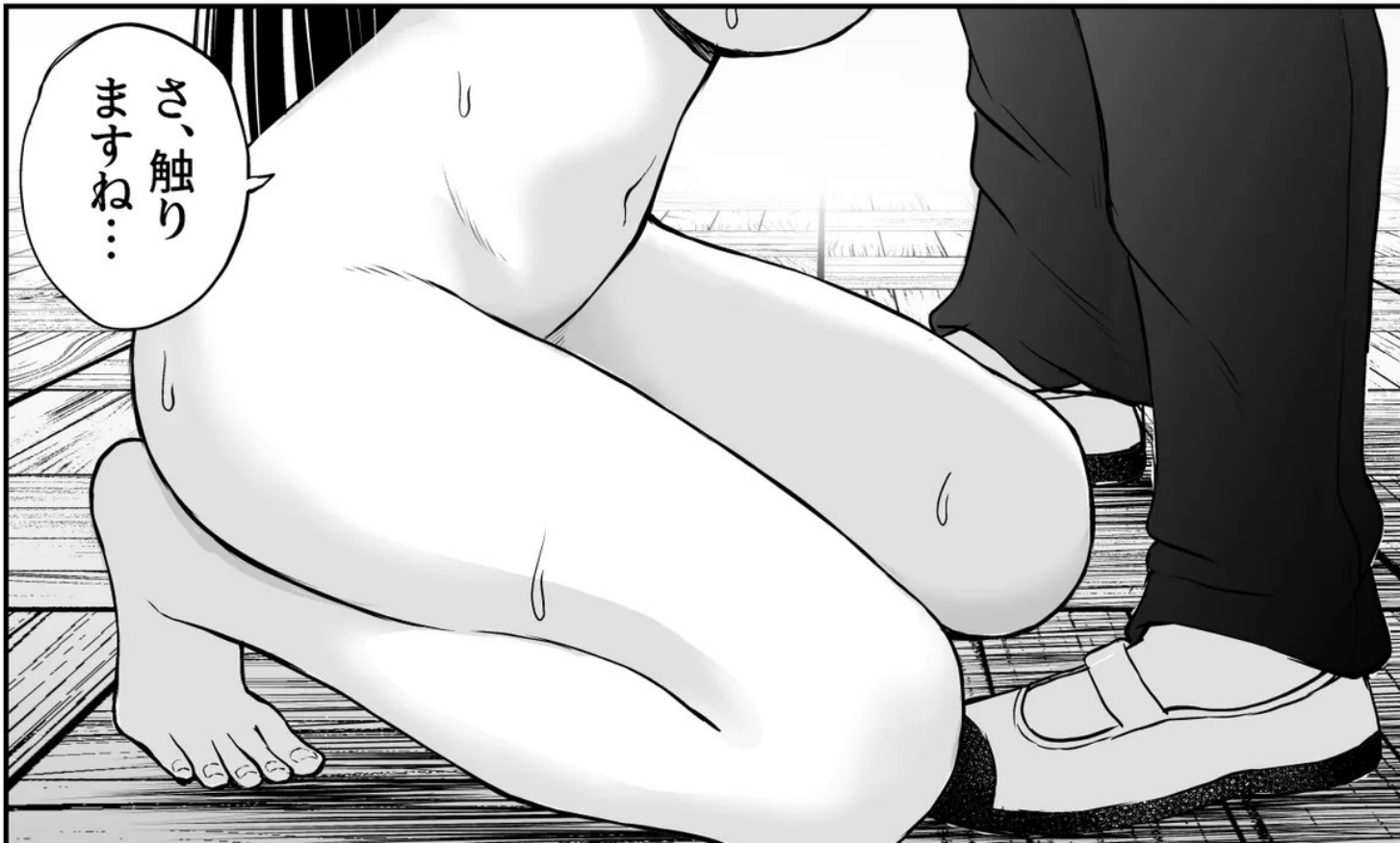




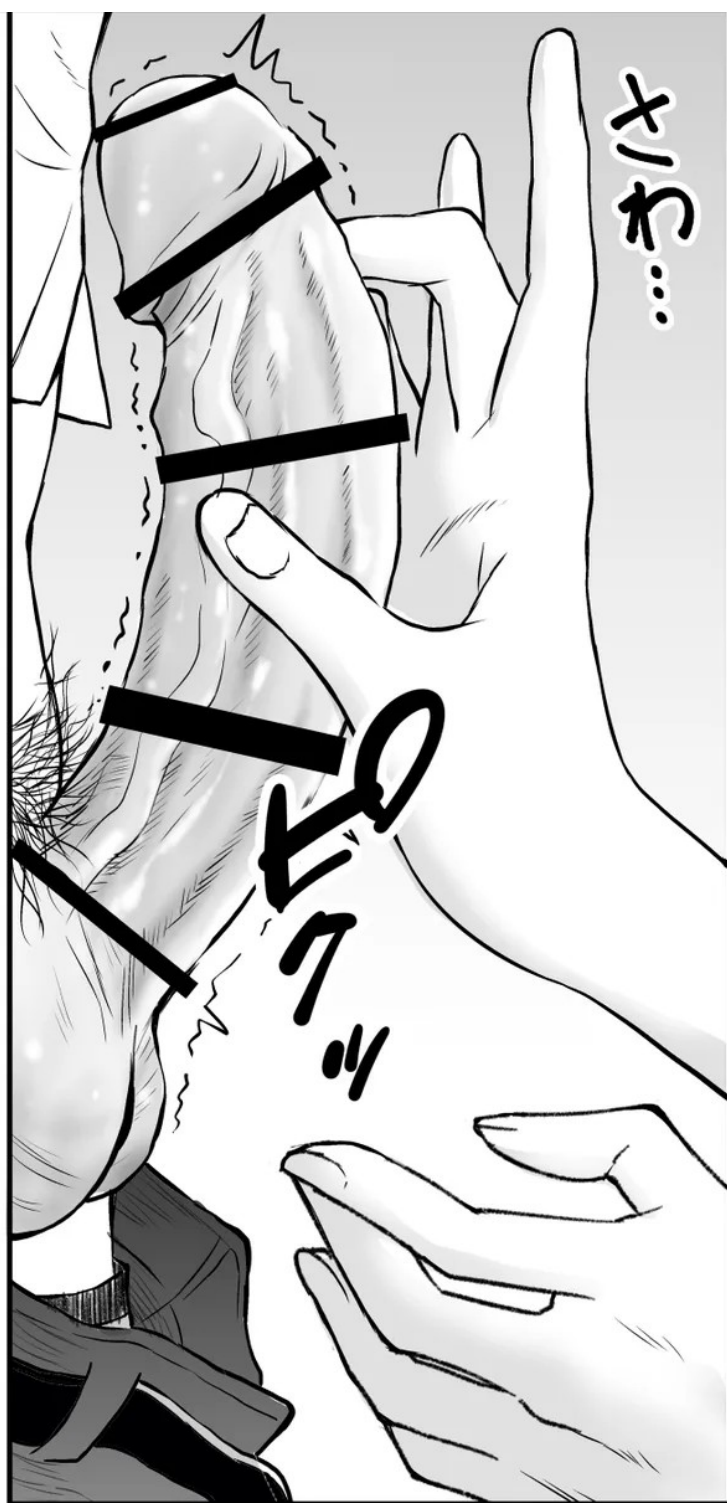
は、初めて
見ました…



こういう風に
なってるんですね…



さ、触り
ますね…







放課後の美術室で
後輩の女子を裸にして...

れろっ♡
れろっ♡

んっ♡

ちゅ♡

んん♡

ちゅ

フェラをさせている...

あっ♡

ちゅ♡



ん...

ん...

ちゅ...
ちゅ...

ちゅ...
ちゅ...

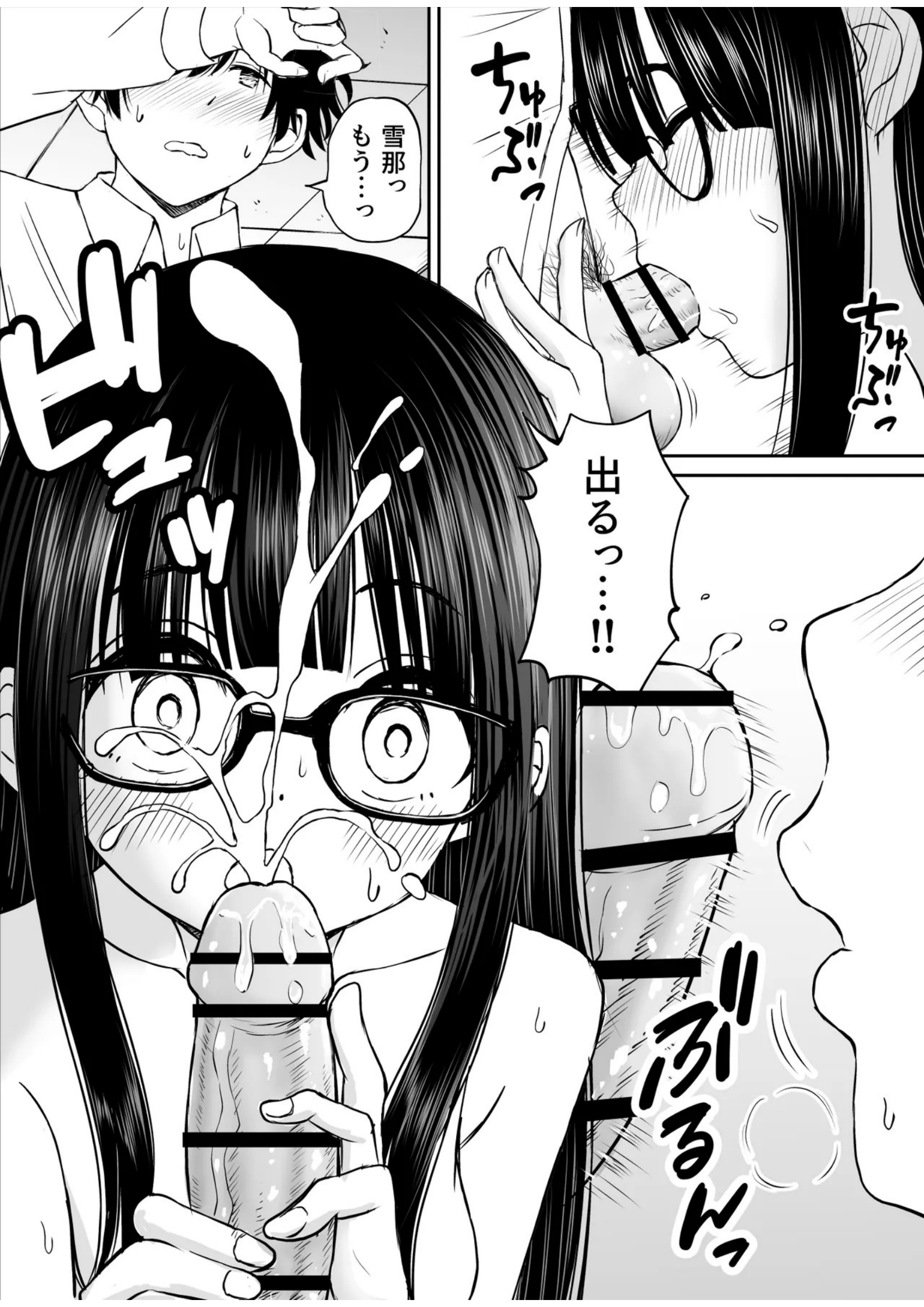
んむ

ちゅ

ちゅッ

ちゅ

この光景を俺は
一生忘れないだろう



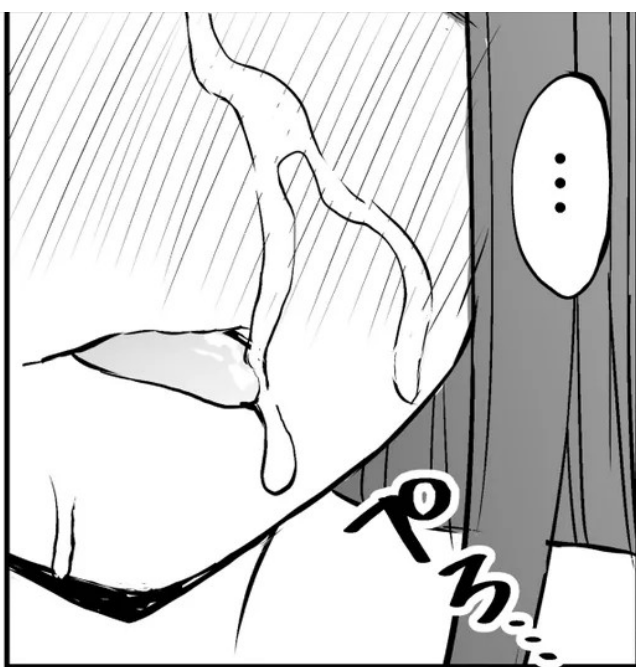
雪那っ
もう...っ

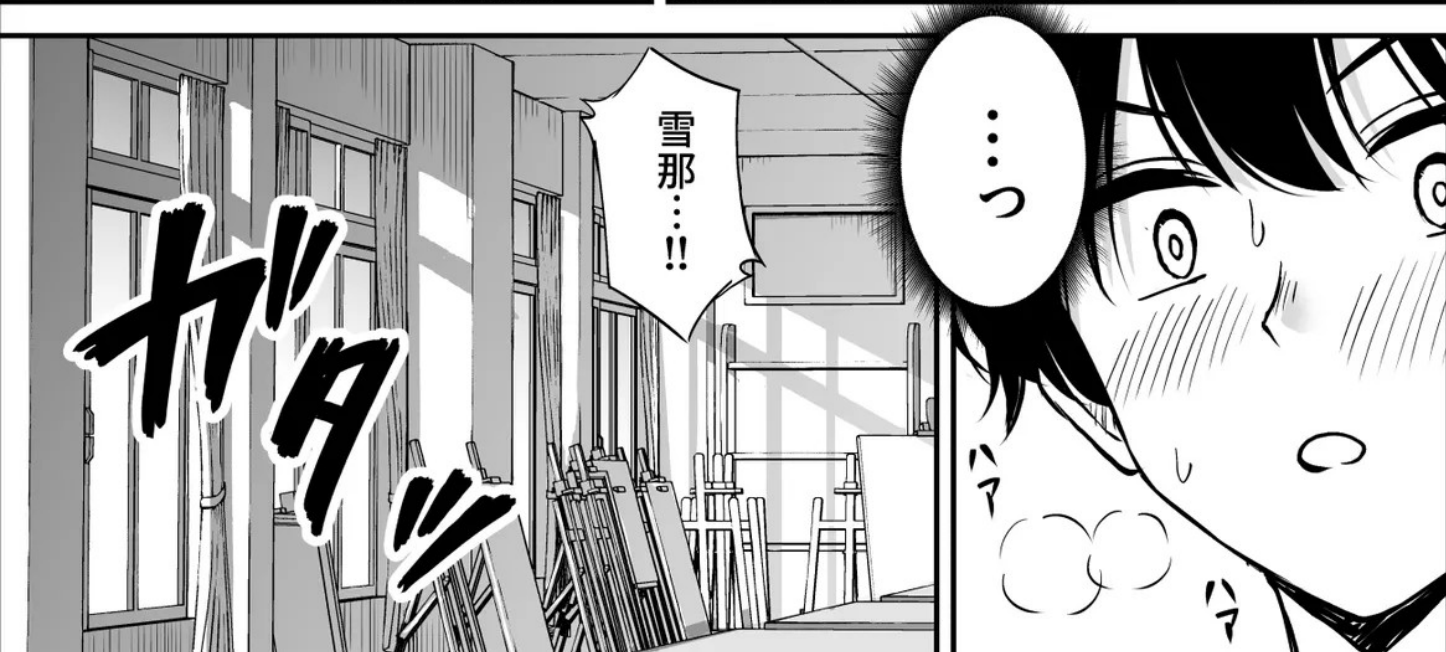
ちゅぷ!!
ちゅぷ!!

ちゅぷ!!
ちゅぷ!!

出るっ!!

びるん

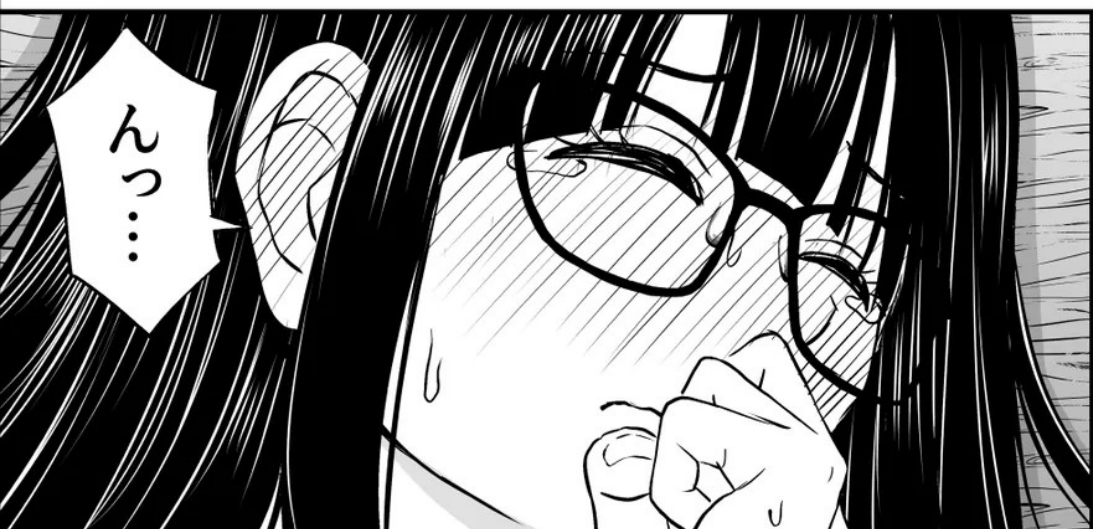
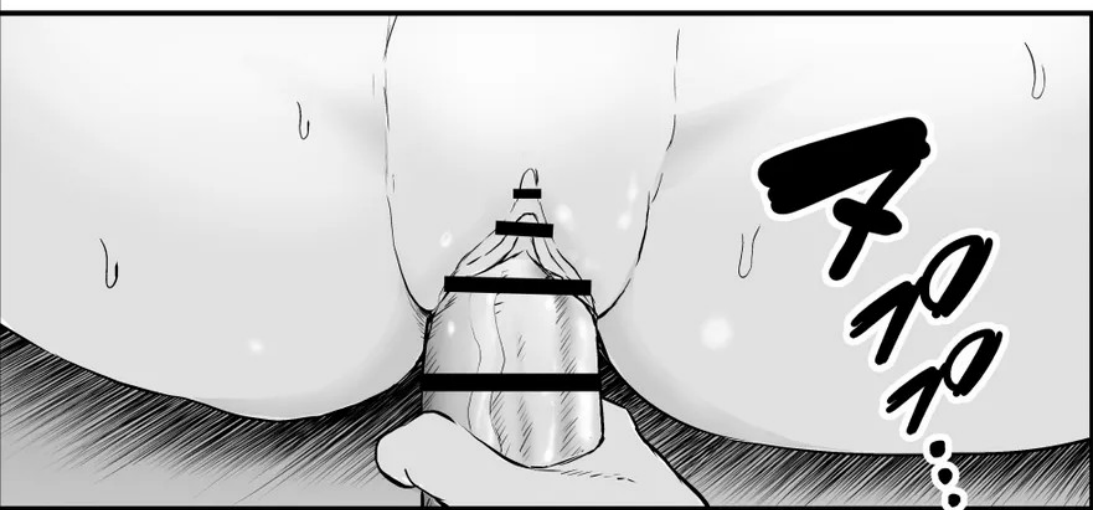


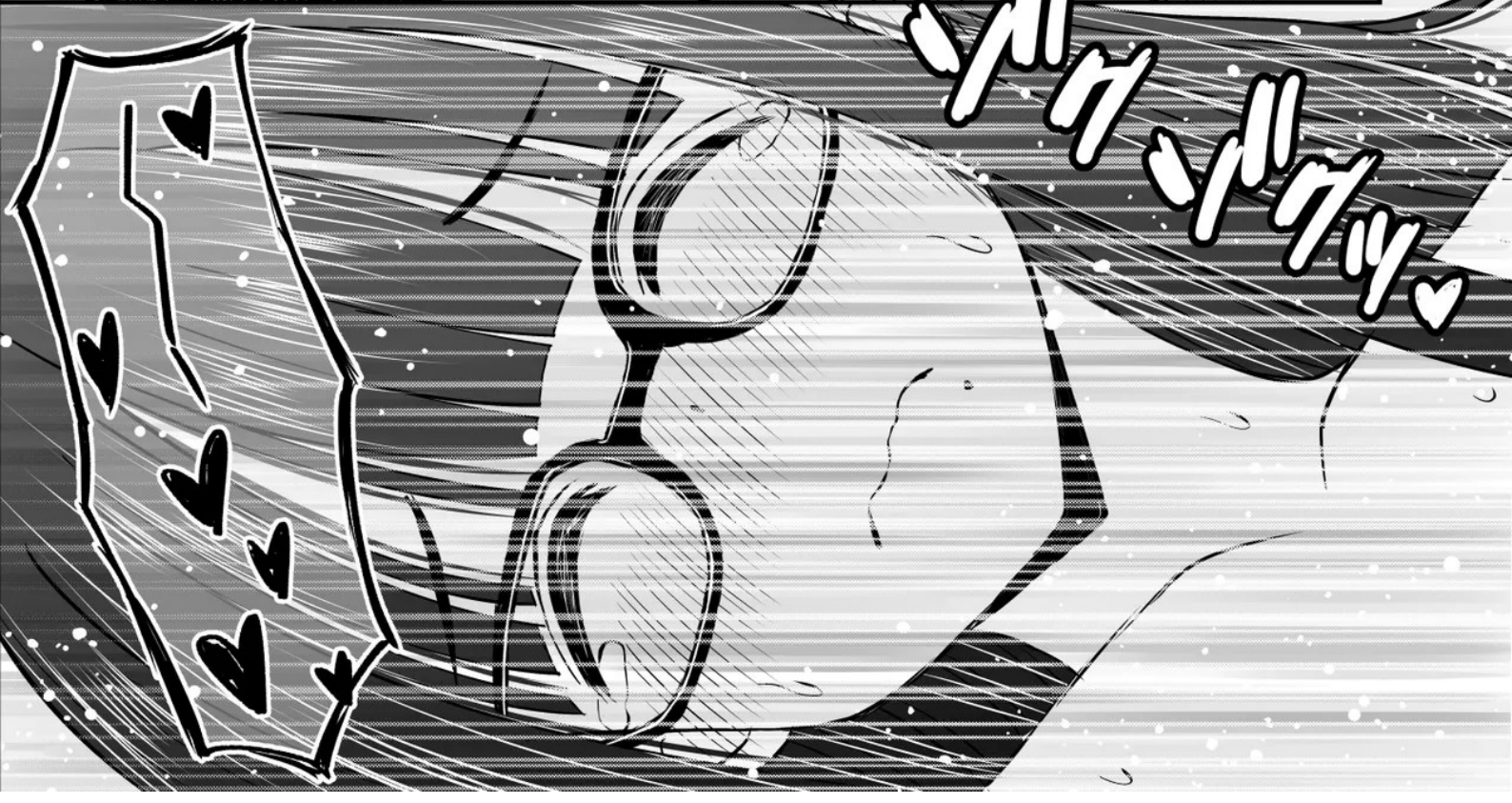




せ、先輩...!?









あーっ♡

はあ♡

あーっ♡

あーっ♡

はあ♡

雪那...!!

ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

ちゃっ

出るっ!!

ちゃっ

あーっ







先輩はずっと1人だった私に
居場所を作ってくれた…

んっ

あっ

はっ

あっ

はっ

あっ



どんな形でも
先輩の特別な存在に
なりたかった

んっ

あっ

あっ

んっ

あっ

先輩が話しかけてくれて
一緒に絵を描いてくれて…
それが本当に嬉しくて…

はっ

はっ

はっ





はい...!!



おわり

あとがき

最後までお読み頂き
ありがとうございました。
当サークル9作品目になります。
今回は初めての眼鏡女子です。

2024年は全部で6作品を
出すことが出来ました。
購入してくれた皆さま
本当にありがとうございます。
おかげさまで執筆活動を
続けられます！

2025年もたくさん
描いていきたいと思っていますので
どうぞよろしくお願いします☆

2024.12月 ことらっく



おまけ
初期キャラデ"サ"



**無断転写・複写・転用・web上への
アップロードは禁止いたします。**